



# 白門板橋

2006. 9. 15 VOL.26

編集  
発行

中央大学学員会 東京板橋区支部  
〒175-0082 板橋区高島平2-23-3-101 TEL03-3550-3300



■総会のご案内——  
**本部との絆を強固なものに!!**

支部長 小日向 孝介

\*\*\*

本日、大学本部並びに学員会から来賓をお招きして、平成十八年度板橋区支部総会を開催しましたところ、多数の会員のご出席をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年度の支部行事も、皆様方の格別のご協力により、ことごとく消化し、ここにご報告申し上げ、ご承認をいただくことになりました。どうか慎重なご審議をお願いいたします。

ところで五月中旬、中大駿河台記念館において、全国支部長会並びに学員会総会が開かれました。鈴木理事長の日本経済の鋭い現状分析を始め、永井総長による明確な教育方針、そして中山学員会会長の積極的な事業提言があり、それぞれ感銘をうけて拝聴しました。

特に本日は、永井総長から大学の現状と叡智を結集した中大の未来像について、直接お話を伺う機会を得ることができ、誠に光栄に思っております。新しい変革の時代を迎え、本部との絆をますます強固にして、母校の名誉と発展のため、私たちも微力を捧げて参りたいと存じます。

本日は併せて、板橋区支部の役員改選につきましても、ご承認をいただくことになっております。新役員一同、結束をより強めて業務を遂行する所存でおります。引き続き、温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当支部の持続的発展と、会員各位のご健勝を祈念して、挨拶といたします。

(本文は、総会当日の支部長挨拶を要約したものです。)

# 支部ニュース

## 永井総長を迎え盛大に総会

\*\*\*

第18回支部定時総会は、去る六月二十三日（金）午後六時から区立文化会館大会議室を会場に開催されました。

当日は、母校中大から永井総長・学長、富田一二五周年記念事務局長、学員会本部から中西副会長を来賓に迎え、総勢七十



▲総会で祝辞を述べる永井総長

二名が出席して盛やかな集いとなりました。

池田幹事長の司会で開会し、冒頭に物故された五名の会員に黙祷を捧げてから、小日向支部長に挨拶をいただき、議事に入り、全五議案が原案通り承認可決されました。執行役員一六名が紹介されたあと、ホームカミングデーへの参加のお願いを兼ねた幹事長の閉会の挨拶で終了しました。

記念撮影を経て、第二部は徳永副幹事長の司会で始まり、顧問の石塚区長の挨拶、永井総長、中西副会長、富田事務局長の来賓三名から、母校の現況、ホームカミングデーへの参加と募金の協力等のそれぞれ祝辞をいただいた後、関常任幹事の発声で乾杯！

飲談中——墨田区支部から友情出演いただいた指笛音楽演奏者・松谷茂氏の妙技に耳を傾け、場内から盛大な拍手が送られました。祝電の披露、初参加者の自己紹介があり、宴たけなわとなった頃岡田常任幹事のリードで校歌・応援歌・惜別の歌を全員輪になって歌い、栗山相談役の中締め音頭で散会しました。（池田記）

## 大山公園で賑やかな観桜会

支部恒例の観桜会は、大山ブロックの担当で、四月一日（土）に行なわれた。午後一時、大山公園に参集した会員は三四名。桜咲き誇る隣の養育院内の渋沢栄一伯爵銅像前で記念撮影を済ませます。

レストラン・サンイチに場所を移し、佐藤道則世話人代表の挨拶もそこそこに、ご馳走と酒とカラオケで数時間楽しんだ後、ホロ酔い気分分で石神井川まで行進。両岸から川面に向かって満開の桜並木に感動を新たにしました。

川沿いをゆつくり散策して自由解散と相成ったが、飲み足りないグループは、近くの居酒屋で、二次会を楽しんだ模様。（大野記）



▲銅像前で記念撮影

## 都区内支部連絡会がビッグ記念イベント

☆☆☆

中央大学学員会の都区内支部連絡会が結成されて、今年で10周年を迎えるのを記念し当番支部の墨田区支部がビッグなイベントを企画。各支部もこれに賛同し、協力態勢に入っています。

母校・中央大学スイング・クリスタル・オーケストラを招き、スイングジャズ・コンサートを開催する。

入場は有料（¥2000）となりますが、地元中学校の吹奏部や地域住民を含めた多くの方々を招待することもあり、当支部でも応分のチケットを引き受けましたので、支部役員をはじめ、広く会員の皆様及び知人・ご家族の方々をお誘い合せて、参加下さるようお願い致します。

記

■日時／11月22日（水）

午後七時開演

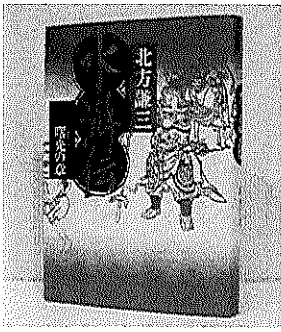
■場所／すみだトリフォニーホール 大ホール

# 母校のニュース

## 北方謙三氏が司馬賞受賞

本学出身作家・北方謙三氏がこのほど第九回司馬遠太郎賞を受賞した。

受賞の対象となった作品は、全一九巻の長編「水滸伝」（集英社刊）。痛快にして爽快な大傑作を、緊張感を保ちつつ書き上げた力量が高く評価された。ハードボイルド作家から大きく進化した北方氏は、歴史小説の分野にも活躍の場を広げ、既に、第四回柴田錬三郎賞、第三八回吉川英治文学賞をそれぞれ受賞している。



## 魁道・若孜共に引退

●●●

大相撲の本学出身力士・魁道関と若孜関がそろって引退することになった。

魁道関は7月場所まで四勝三敗の成績だったが、健康上の理由で引退することになり、7月場所病氣全休の若孜関とそろって引退が決まった。

若孜関は一時幕内を張り、魁道関も十両まで昇進して期待されたこともあっただけに、二人の引退は惜しまれる。なお二人の最高番付は、次の通りでした。

\*

若孜関／松ヶ根部屋 平7年卒  
元前頭（幕下）  
魁道関／友綱部屋 平10年卒  
元十両（幕下）



▲若孜関



▲魁道関

## 村上深（経2）君

●●●  
学生・アマ本因坊に

第五〇回・全日本学生囲碁本因坊決定戦で、本学の村上深君が大坂大学・田結莊明君を破って見事二連覇を達成した。

一週間後に行なわれたアマチュア本因坊決定戦でもベテランの中園清三氏に二目半勝ちし、史上最年少記録を更新の上、学生囲碁本因坊との初の二冠を制覇した。

## 三大駅伝に期待

すでに今年度三大駅伝に出場を決めている中大は、四年生選手の充実により、各大会において上位入賞が期待されている。

一方、全日本予選会では東海大・法大・早大等の強豪が予選落ちするなど大混戦も予想される。

前回八位と惨敗した箱根駅伝では、新主将・山本を中心に四年生が結束、強力新人・梁瀬の加入もあって、秘かに「箱根総合優勝」を狙っている。

（栗原記）

## 青いハンカチ

夏の全国高校野球が西東京代表・早稲田実業の初優勝で幕を閉じた。

大谷口プロックの岡田さんは同校のOBでもあったので、何度か甲子園へ応援に駆けつけたと漏れ聞いている。

全試合を一人で投げ抜いた早稲田実業の斎藤投手は、九〇〇を超える球数を黙々と汗を拭いながら投げた。

汗を拭ったタオル地の青いハンカチが話題になったが、裕次郎のヒット曲「赤いハンカチ」ではサマにならない。

山田洋次監督の「黄色いハンカチ」も話題を呼んだが、マウンドで汗を拭うには、青いものに限る。紺碧の空に似て爽やかなのがいい。（H記）

# 定時総会決議事項の報告

第18回・支部定時総会が、去る六月二十三日(金)午後六時から、区立板橋文化会館の大会議室を会場に、会員七十二名が参加して開催されました。全議案の決議事項を次の通り、ご報告申し上げます。

## 第一号議案

平成十七年度・事業報告

大野事務局長から次の通り報告され、異議なく承認されました。

- ・四月二日(土) 支部観桜会  
区外ブロック担当  
於ノ隅田川・屋形船 39名
- ・四月二日(木) ゴルフ同好会コンペ  
於ノノーザン錦ヶ原 20名
- ・四月二日(金) 常任幹事会  
於ノハイライフプラザ板橋 25名
- ・四月二四日(土) 囲碁同好会月例会 12名  
於ノ西池会館毎月第四土曜
- ・五月二〇日(金) 幹事会 33名  
於ノハイライフプラザ板橋

・五月二七日(金)

カラオケ大会 15名  
於ノレストラン・サンイチ

・六月一四日(火)

定時総会打合せ 6名  
於ノ巣鴨ルノアール



白門板橋 Dカラオケ会  
平成17年5月27日 於グリーンホール

・六月二四日(金)

定時総会 67名  
於ノ区立文化会館大会議室

・八月二五日(木)

常任幹事会 19名  
於ノ文化シャッター研修所

・九月一日(木)

パソコン教室 20名  
於ノハイライフプラザ板橋

・九月七日(水)

会報編集会議 6名  
於ノ巣鴨ルノアール

・九月八日(水)

都区内支部幹事会 2名  
於ノ中大駿河台記念館

・九月二日(水)

会報発送作業 10名  
於ノ文化シャッター研修所

・一〇月一四日(金)

カラオケ大会 14名  
於ノレストラン・サンイチ

・一〇月二三日(日)

ホームカミングデー 25名  
於ノ多摩キャンパス

・一〇月二五日(火)

ゴルフ同好会コンペ 17名  
於ノノーザン錦ヶ原

・一〇月二九(三〇)日(日)

秋の旅行・大湯温泉 28名

・二月九日(土)

支部忘年会 42名  
於ノ割烹・かすが

・二月一三日(火)

H P開設準備会議 10名  
於ノN P Oホール

▽平成一八年

・一月二日(土)

支部新年会 64名  
於ノ区立文化会館会議室

・一月二六日(木)

会報編集会議 6名  
於ノ区立アイ・タワー

・一月二六日(木)

H P開設準備会議 13名  
於ノ区立アイ・タワー

・二月一四日(火)

パソコン教室 16名  
於ノ区立アイ・タワー

・二月二〇日(月)

パソコン教室 13名  
於ノ区立アイ・タワー

・三月一五日(水)

会報等発送作業 11名  
於ノ常盤台町会事務所

・三月二四日(金)

常任幹事会 28名  
於ノ区立グリーンホール  
以上

第2号議案 平成17年度・収支決算報告の件

平成17年度・収支決算報告書  
(自平成17年 4月 1日～至平成18年 3月31日)  
【収入の部】 (単位:円)

科 目	予算額	決算額	増減額	備 考
年会費	600,000	474,000	- 126,000	3,000円×158名
総会費	490,000	529,000	39,000	7,000円×67名
旅行会費	885,000	958,500	73,500	30,000円×25名 29,500円×3名 寄付金 80,000円
親睦会費	390,000	390,000	0	支部補助40,000円
新年会費	490,000	423,000	- 67,000	10,000円×33名 7,000円×5名
忘年会費	250,000	232,000	- 18,000	5,000円×47名
常任幹事会費	100,000	155,000	55,000	2,000円×43名 3,000円×18名
幹事会費	100,000	54,000	- 46,000	2,000円×3名
貸取利息	13,000	10,846	- 2,154	中央大学学費二第5回利息 10,800円 125周年寄付に伴う補助金 25,750円 13,500円
雑収入		40,250	40,250	
前年度繰越金	1,943,853	1,943,853	0	
計	5,261,853	5,270,449	8,596	

【支出の部】 (単位:円)

科 目	予算額	決算額	増減額	備 考
総会費	490,000	432,420	- 57,580	0.04 文化会館
旅行会費	885,000	949,500	64,500	10.00 新瀬・大湯温泉
親睦会費	390,000	398,000	8,000	4.00 支部負担金0.000含む
新年会費	490,000	362,800	- 127,400	1.00 屋形船
忘年会費	250,000	273,079	23,079	1.00 文化会館
常任幹事会費	100,000	163,500	63,500	4.00 必ず
幹事会費	100,000	70,000	- 30,000	0.00 列-2-1
印刷費	250,000	248,450	- 1,550	年2回発行(3-9月)
印刷費	50,000	0	- 50,000	公報送料 2回分他行事案内4回
印刷費	150,000	920	- 149,080	
印刷費	80,000	0	- 80,000	
印刷費	50,000	0	- 50,000	
印刷費	10,000	504	494	
印刷費	150,000	89,000	- 61,000	他支部総会出席及び会館平金
印刷費	80,000	80,000	0	別荘、227、277、277部
印刷費	12,000	9,860	- 2,040	社会費協会の借入金
印刷費	100,000	100,000	0	中大125周年記念事業寄付金 4年度分償出
印刷費	100,000	0	- 100,000	
印刷費	30,000	0	- 30,000	
印刷費	1,514,853	1,942,514	427,661	
計	5,261,853	5,270,449	8,596	

凡例/一印は、予算額に対して決算額が減少したことを示す。

貸借対照表

(平成18年 3月31日現在) (単位:円)

資産の部			負債・剰余金の部		
科 目	摘 要	金 額	科 目	摘 要	金 額
現金	手元有高	15,646	次期繰越金		1,942,514
郵便貯金	3-568829	308,830			
郵便貯金	69518001	1,009,888			
郵便貯金	3729043	72,000			
普通預金	奥平貯蓄・振替	1,250			
普通預金	8月総会会場費	43,900			
投資有価証券	中大学債残高	500,000			
計		1,942,514	計		1,942,514

以上のとおり決算報告致します。

平成18年6月24日

支部長 小日向 孝介◎

会 計 久米 英雄◎

会 計 益田 永治◎

以上、支部決算につき監査の結果、適正にかつ適法に表示していると認めた。

平成18年6月24日

監 事 栗原 泰彦◎

監 事 関上 裕次◎

第二号議案

平成十七年度・収支決算報告

久米会計幹事(常任)から、

左表の通り報告の後、関上監事から会計監査報告があり、満場異議なく拍手をもって承認可決されました。

説明があり、満場異議なく拍手をもって承認可決されました。

三、他支部との交流

\*都区内外支部連絡会など

\*中央大学創立一二五周年記念事業への協力

\*募金など

\*今年も継続して会員増強に努める。

\*大会費納入率アップの推進

\*同好会活動の促進

\*囲碁同好会 毎月第四土

\*ゴルフ同好会 4・10月

四、中央大学創立一二五周年記念

五、会場/区立文化会館大会議室

六、懇親会の開催

七、観校会 四月一日(土) 34名

八、旅行会 秋に実施予定

九、忘年会 年末に予定

十、新年会 一月に予定

八、広報活動

\*会報『白門板橋』の発行

年一回(3月・9月)

\*中央大学『学員時報』への寄稿

九、「ホームカミングデー」及び同時開催の「留学生との集い」に参加と協力

第三号議案  
平成十八年度・事業計画(案)

大野事務局長から下記の通り

以上

以上

第4号議案 平成18年度・取支予算(案)の件

平成18年度・取支予算(案)  
(自平成18年 4月 1日～至平成19年 3月31日)

(単位:円)

【収入の部】			【支出の部】		
科 目	金額	備 考	科 目	金額	備 考
年会費	600,000	3,000×200 各名	総務費	490,000	4. 実施済
会費	490,000	7,000×70	総務費	885,000	
雑費	885,000	29,500×30	総務費	136,000	
雑費	136,000	4,000×34	総務費	250,000	
雑費	250,000	5,000×50 各名	総務費	490,000	
雑費	490,000	7,000×70	総務費	100,000	
雑費	100,000	2,000×25×2	総務費	100,000	
雑費	100,000	2,000×50×1	総務費	250,000	
			総務費	50,000	
			総務費	150,000	
			総務費	50,000	
			総務費	60,000	
			総務費	10,000	
			総務費	150,000	
			総務費	80,000	
受取利息	13,000	中大学債第5回 利息他	雑費	12,000	
			雑費	100,000	
			雑費	100,000	
前年度繰越金	1,942,514		雑費	100,000	
			雑費	30,000	
計	5,008,614		雑費	1,413,514	
			計	5,008,614	

備考/ネット導入費とは、支部HP制作等インターネット導入に関する費用

第四号議案  
平成十八年度・予算案  
\*\*\*  
久米会計幹事(常任)から、左表の通り説明の後、議長から場内に諮られ、満場拍手をもって承認可決されました。

第五号議案  
役員改選の件  
\*\*\*  
改選された新役員は、次の通りです(下段へ)

- |      |        |       |                      |
|------|--------|-------|----------------------|
| ▽顧問  | 石塚 輝雄  | ▽常任幹事 | 竹田 和夫                |
| ▽相談役 | 小野田 元  | ▽同    | 佐藤 義                 |
| ▽同   | 水野 公一  | ▽同    | 宮村 徹                 |
| ▽同   | 牧 吉雄   | ▽同    | 大森 守                 |
| ▽同   | 武内 崇泰  | ▽同    | 垣内 茂                 |
| ▽同   | 栗山 秀男  | ▽同    | 須田 幸男                |
| ▽同   | 片桐 久雄  | ▽同    | 三田 喜一                |
| ▽同   | 栗原 泰房  | ▽同    | 吉野 昭一                |
| ▽同   | 関上 裕次  | ▽同    | 山田 節子                |
| ▽同   | ☆中路 義雄 | ▽同    | 金子 益朗                |
| ▽同   |        | ▽同    | ☆久米 英雄               |
| ▽同   |        | ▽同    | 岡田 利彦                |
| ▽同   |        | ▽同    | ☆小林 健一               |
| ▽同   |        | ▽同    | 中三川 幸幸               |
| ▽同   |        | ▽同    | 小宮 仁                 |
| ▽同   |        | ▽同    | 清水 治男                |
| ▽同   |        | ▽同    | 田中 泰治                |
| ▽同   |        | ▽同    | 川上 久雄                |
| ▽同   |        | ▽同    | 佐藤 幹夫                |
| ▽同   |        | ▽同    | 本橋 順                 |
| ▽同   |        | ▽同    | 筈原 優                 |
| ▽同   |        | ▽同    | 蒲生 年公                |
| ▽同   |        | ▽同    | 原田 幸雄                |
| ▽同   |        | ▽同    | 吉岡 聡太郎               |
| ▽同   |        | ▽同    | 大泉 喜義                |
| ▽同   |        | ▽同    | 西元 文武                |
| ▽同   |        | ▽同    | 浅香 義亮                |
| ▽同   |        | ▽同    | 飯島 健市                |
| ▽同   |        | ▽同    | 猪橋 進一                |
| ▽同   |        | ▽同    | ☆印は、<br>新任を示す。<br>以上 |
| ▽同   |        | ▽同    | 中山 修                 |
|      |        | ▽同    | ☆宮崎 雄文               |
|      |        | ▽同    | 早坂 光平                |
|      |        | ▽同    | ☆藤井 滋                |
|      |        | ▽同    | 内田 繁夫                |
|      |        | ▽同    | 阿部 顕一                |
|      |        | ▽同    | 古沢 政和                |
|      |        | ▽同    | ☆伊藤 潤                |
|      |        | ▽同    | 浅野 国昭                |
|      |        | ▽同    | 豊田 哲夫                |
|      |        | ▽同    | 成毛 義光                |
|      |        | ▽同    | 深山 宏                 |
|      |        | ▽同    | ☆荒井賢太郎               |
|      |        | ▽同    | ☆川嶋 鉦平               |
|      |        | ▽同    | 露木 久剛                |
|      |        | ▽同    | 近藤 正                 |
|      |        | ▽同    | 若木 康夫                |
|      |        | ▽同    | ☆山城 博光               |
|      |        | ▽同    | 小林 武男                |
|      |        | ▽同    | 小宮 勇                 |
|      |        | ▽同    | ☆安倍 幸照               |
|      |        | ▽同    | 碓谷 廣司                |
|      |        | ▽同    | ☆川崎 力男               |
|      |        | ▽同    | 櫻本 都行                |
|      |        | ▽同    | 山本 仁二                |
|      |        | ▽同    | 池内 稚利                |

# 告知板

■秋の支部旅行

## 会津芦ノ牧温泉に決まる

支部恒例の秋の旅行が、福島県会津若松市の会津芦ノ牧温泉に決まりました。

貸切バスでグリーンホール横を出発し、二日間をわたって、野口英世記念館、会津ものづくりフェア、鶴ヶ城公園、飯盛山などを見学する、楽しさ一杯の旅行会です。

奮って参加してください。

記

日時／一〇月二八～二九日  
旅行費／二九、五〇〇円

宿泊先／会津・芦ノ牧温泉

大川荘

申込先／近藤、三宅、川崎、

鈴木(裕)

期限／九月三〇日(土)

\*

■詳細は、同封の要項を参照してください。

## 忘年会の日程決まる

\*

今年の忘年会の日程などが、左記の通り決まりました。

記

日時 十二月九日(土)

会場 板橋区蓮根一丁目

割烹・「よし邑」

会費 六、〇〇〇円

\*追ってご案内します。

## 新年会の日程決まる

来年の新年会の日程などが、左記の通り決まりました。

記

日時／一月二〇日(土)

会場／区立文化会館大会議室

会費／七、〇〇〇円

\*追ってご案内します。

会費納入のお願い

■

今年度の支部会費が未納の方は、同封の振込用紙で納入下さるようお願い致します。(会計幹事)

## ホームカミングデー

一〇月二二日(日)に決まる

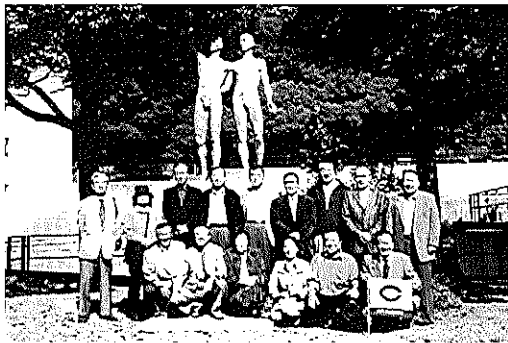
\*

学員時報などで既報の通り、今年のホームカミングデーは、来る一〇月二二日(日)に多摩校舎で開催されます。

本件は支部事業計画の一つで、参加を希望される方は、当日、貸切バスを仕立てますから、指定の場所に集合して下さい。

なお集合場所および時間は、同封の「案内」を参照の上、お申し込み下さい。

先着二〇名限定です。



▲昨年のホームカミングデーに参加の面々

## 訃報

謹んでお悔やみ申し上げます

(敬称略)

▼三木三郎(13年・法)

平成一八年三月逝去

板橋区常盤台

一〇ノ三五ノ五

## 仲間を増やそう

■

支部事業計画の一つに「会員増強運動」があります。

縁あって白門に学んだ学友の「板橋白門会」入会を誘って下さい。

各種の行事や趣味を通じて、交友の輪を広げるよう働きかけて下さい。卒年は不問です。

(事務局)

■白門作家シリーズ——

# 芹澤文学拾い読み



国文学解釈と鑑賞・別冊

## 「芹澤光治良」

世界に発信する  
福音としての文学——

発行所／至文堂

編集／渡部 芳紀  
野乃宮紀子

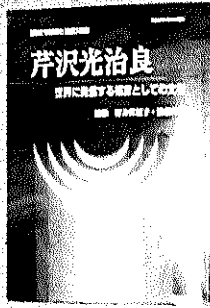
作家・故芹澤光治良の生誕百十周年を記念して、国文学研究者向けに編纂されたシリーズ研究図書で、今年五月十日に発行された。

本書は、作家・故芹澤光治良の特定の作品を取り上げたものではないので、表題の「芹澤文学ひろい読み」にはならないが芹澤光治良文学を研究する学者による作品論及び評伝並びに、近親者や熱烈な読者による人間芹澤光治良への発言が収録され

ている。

本シリーズは、中央大学出身の作家をはじめ、中央大学に関わりのある作家を不作為に取り上げ、その作品を「拾い読み」して紹介している。芹澤光治良氏と本学との接点は、氏が農商務省の高等官を辞して、仏のソルボンヌ大学に留学し、論文を書き上げたのち病に倒れて帰国したときに始まる。

芹澤氏が、役所の先輩であり上司であったI課長の推薦で中央大学の経済学部に着くことになり、「貨幣論」等を講じたことによる。



昭和四年四月から七年二月までの短い期間ではあったが、在職中に『改造』の懸賞小説に1等入選し、これが朝日新聞の学芸部長だった鈴木文史朗の目に止まり、夕刊に「明日を逐うて」を連載することになった。つまり、本学に籍をおいて作家として本格的にデビューしたことによる。

偶然であるが、本書への寄稿に中央大学の関係者が多いのは、大学院でゼミを担当する渡部芳紀教授が本書を編集したことにもよるが、法学色の強い本学に少数ながらも芹澤文学を研究する若い学生がいることは嬉しい限りだ。

松本名誉教授の専門は独文学だが、代表作「人間の運命」を中心に芹澤文学の魅力について執筆している。

\*中央大学関係の執筆者

- 大野 一道 (中央大学教授)
  - 原 卓史 (同 専任講師)
  - 松本 道介 (同 名誉教授)
  - 渡部 芳紀 (同 教授)
  - 俞 載 信 (同 大学院生)
  - 姜 辰 根 (同 大学院生)
- (平山記)

●大相撲七月場所  
中大出身力士星取表

## 玉春日関が技能賞獲得

○●○

▽出島(武蔵川)

本名・出島武春 平8卒

西前頭6枚目 8勝7敗

▽玉春日(片男波)

本名・松本良一 平6卒

西前頭12枚目 11勝4敗



▲玉春日関

▽豪風(尾車)

本名・成田 旭 平14卒

西前頭13枚目 9勝6敗

▽魁道(友綱)

本名・田中康弘 平10卒

幕下西11枚目 4勝3敗

▽若孜(松ヶ根)

本名・中尾浩規 平7卒

幕下西48枚目 全休

(池田記)

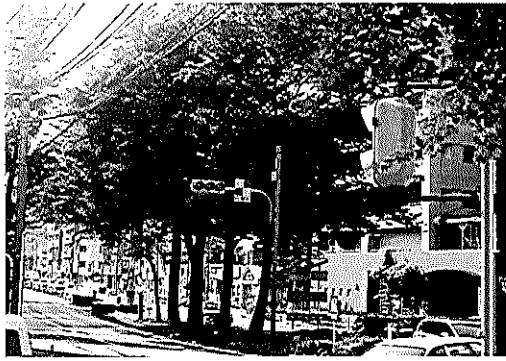


## 地名の由来…⑱

# 「上板橋」の巻

は、現在の上板橋地区の方が中心であったらしく「風土記稿」の著者は「源平盛衰記」「義経記」「中古治乱記」などに出てくる板橋に関する出来事は、下板橋でなく、上板橋地区における事件と考えて記述している。

区は、板橋町・志村・赤塚村・上板橋村となったこと。またこの時に他の町村はいろいろな村と合併してできたものだが、上板橋村だけは自治の資力も十分あり、近隣に併合させるような村落もないというので「上板橋宿」から「上板橋村」に改まったということ等



▲写真は川越街道の5本榎

が町名と変わって復活している。「江古田・小竹」は昭和二十二年に練馬区に編入されている。余談であるが江戸時代の小字名で現在まで残っているのは「大谷口・向原」の二つだけである。

大正三年に東上鉄道が池袋〜田

### ■上板橋宿から上板橋村へ

上板橋宿は、川越街道第一の宿場であった。仲宿の巻でも述べたが、中山道の宿駅板橋宿は下板橋にあり、上板橋・下板橋の名は、やはり京に近い方を上と呼んだようである。中世の頃

板橋城もまた上板橋地区にあったという。中世の頃は分村していなかったので、上板橋・下板橋に分かれたのは、江戸時代になってからと思われる。今回は池田先輩にいろいろな話を伺った。まず明治二十二年に市制町村制が施行され、現在の板橋

等、沢山教えていただいた。

### ■上板橋村から上板橋町へ

さてこの上板橋宿であるが、宿場の範囲は現在の弥生町一番から下頭橋までの間であった。ただこの川越街道を利用する大名は、川越藩主一人だけの為きわめて小規模であった。この頃は下板橋宿の方が栄えていたようである。この上板橋村の大きな特徴は「大字」がないことである。村成立の過程が影響しているのかも知れない。市郡併合により昭和七年に板橋区ができて、上板橋村は「上板橋町・大谷口町・向原町・根之上町・小山町・茂呂町・江古田町・小竹町」の八町になる。現在は「大谷口・大谷口上町・大谷口北町・小茂根・桜川・東新町・常盤台・東山町・南常盤台・向原・弥生町」と「上板橋」の十二であり、村名

面沢（川越市）間に開通して、区内にできた三駅の一つが上板橋駅である。（中三川幸幸記）



\* 編集後記 \*

●第八八回・全国高校野球大会が早稲田実業学校高等部の初優勝で幕を閉じた。TV観戦は叶わなかったが、延長再試合にもかかわらず、猛誓の中両校熱戦を展開した。

●今号の編集には、金子新編集長が先発、元編集長がリリーフして何とか試合を作った。甲子園に劣らぬ暑さの中で奮闘した。不慣れた仕事？に疲労が残ったはず。

●今号では、母校にも支部にもニュースが少なかった。しかし、訃報の少なかつたのは、何よりのニュースで、ホッとしている。白門板橋支部の高齢化を防ぐ手だては、何だろう。（平山記）